

KSKP  
NO. 15

# パンジーだより



## 西田隆行 19

発行 1996年1月  
編集 クリエイティブハウス  
「パンジー」

### あけましておめでとうございます



新しい年が明けました。おめでとうございます。

昨年、私にとって最も大きかったことは、アメリカの「'95自立生活支援会議」に参加したことです。とてもパワフルな知的障害を持つ人達と、障害者の自立生活を支援するための職業に誇りを持っている健常者の人達。そして、その人達を支える法律（障害者にとって必要であると認められたものは、たとえ行政が財政的に苦しくとも、実施しなければならないと法律によって定められている……「ランターマン法」）。日本においてもめざしてきた「自立」が、より緻密によりシステム化されている現状を目のあたりにして、圧倒されてしまいました。

日本に帰ってから、何件かパンジーへの講演依頼があったので、アメリカで学んできた「方法」をもとに、当事者の人達による講演会を試みました。ビデオやスライドでパンジーの活動説明をした後、4～5人が楽しかったことや悔しかったこと、そしてこれからしたいことなどを話しました。「学校の時、勉強ができてなくてバカにされてくやしかった」「1年遅れて小学校に入学した。同じ人間なのにどうしてだろう」「親に自立できないと言われた。それでも自立したいと思っている」など勇気をもって話すことができました。また、学校の先生を対象にした講演の時は、ほとんどの人の話が「先生達、やさしくなってください」「先生達、楽しい学校にしてください」という言葉で結ばれたのが心に残っています。

それにしても、みんな、回を重ねるごとに自信がついて上手になっていくのには、目を見はるものがあります。「何回もしたい、いっぱいしたい」という言葉を聞いていると、私までもが、ウキウキしてきます。

社会の中で認められること、社会の中で自信を持つことの大切さを改めて認識させられました。

さて、今年、みなさん、講演依頼をお寄せください。パンジーのメンバーがかけつけていきます。  
(よしみ)

## わたしたちは本年もパンをつくります

あけましておめでとうございます。今年もよろしくおねがいします。

パン部門としましては、昨年以上にみなさんの声を聞き努力していこうとメンバーともども考えています。意見、感想、希望などどんなことでもお聞かせください。これからのパンづくりの参考にさせていただきます。

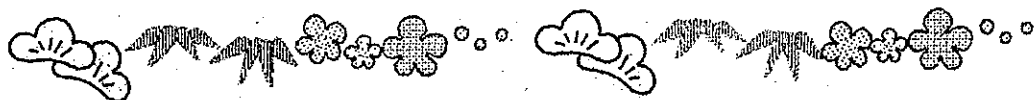
(吉竹)

あけましておめでとうございます。本年もパンを作ります。

あたらしいパンをこれからもいっぱい作ります。市役所とか学校とかもこれからもっとふやします。そのときはパンを買ってください。

がんばりますのでよろしく。

(梅原)



## クリエイティブ部門のバスが着くまで

クリエイティブ部門の9時からバスが着くまでの動きをお知らせします。

9:00 母の運転で、Aさんがくる。最近、自分で車椅子を動かして部屋に来る。パワーがでてきた。いいことだ。その上、部屋に入るなりさをり織りをがんばっている。仕事好きで仕事熱心な人である。

ダリアフルーツの歌声と共に、B君、登場。さっそくハンガーを力強く作り始める。その時にできるハンガーはすごい数で、B君の器用さがうかがえる。またその時、常に歌声が聞こえる。元気な人である。その後、Cさん、Dさんがやって来る。Cさんは風のように現れ、定位置に座り、仕事の用意をして、はじめる。仕事は速く、しかもマイペース。何事にも動じない精神の持ち主である。

Dさん、あきかんを必ず持って仕事をはじめる。ちなみにあきかんは彼にとって灰皿である。環境に優しい人だ。

母の運転で、Eさんがやって来る。ロッカーで着替えをすませ、元気に入ってくる。とても人なつっこい人である。すでに来ている人と一緒にパンジー中に元気をふりまいてくれる。いい人だ。

(ゆきめ)

## パーティしちゃった Yeah! Yeah! Yeah!

自立生活センター「わくわく」

去る12月9日、(11:30から13:30まで) JR大阪駅近くのクラブカフェ“CLUB DAWN (クラブダウN)”にてクリスマスパーティをひらきました。

某ガイドブックで“隠れ家っぽい雰囲気…”と紹介された“CLUB DAWN”はJR京都線高架下の(本当に)見つけにくい場所にありました。



さて、どらえもん会議長さんの音頭でかんばいして、まずランチタイム。唐揚げ、焼き鳥、おすし、アップルパイなどなど、みんなの好きなものが並びました。

おなかがいっぱいになるとBGMにあわせて踊り出す人が出てきて、自然にダンスタイムに移行します。……最初は暗い会場をこわがっていた人もとびはねて喜んで。行きがけパニックになってた人も元気に身体をゆらしている。うるさいのがきらいなはずの人がみんなの中で笑っている。ミラーボールのまわるフロアでみんな踊る踊る!

そのうち舞台上がってマイクを手に歌い出す人も出てきます。ひとしきりすると、マイクに向かって叫んだり、それに応えてエールを送ったりでもう大騒ぎ。楽しさを全身で表現し、それを共有しようとする仲間たちの気持ちはパーティを一気に盛り上げたのでした。

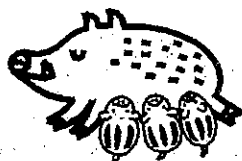
会場の店員さんたちもそんな様子を見て「僕らも楽しいですよ」とにっこり。

そういえばDJを担当してくれたお兄さんはメンバーのノリに合わせて、本当にていねいに選曲してくれてましたよね、あれも良かったのかもしれませんが。ありがとう。

一緒に盛り上げてくれたガイドヘルパーのみなさんも、ありがとう。

みなさん、これからもいっぱい楽しいことしようね。今年もよろしく。

グループホームから、  
あけましておめでとうございます



1995年イノシシ年をふりかえってみると……。

1月の冬休みの終わりに肌勢さんのお兄さんが、急に病気で亡くなり、お母さんはお姉さん夫婦の元に身をよせ、肌勢さんはグループホームに住むことになりました。肌勢さんは自分でグループホームを選びました。

このごろでは、好きなときにパンを焼いて食べる肌勢さんをはじめは、「水飲んででもええか」とか「パン食うてもええか」とかいちいちことわって、みんなに「はだやん、ここ自分の家やで」と言われたものでした。

そんな肌勢さんも去年はいろんなところに行って、ますます旅行（温泉）が好きになったようです。

去年のお正月は、検査入院のため、京都の病院ですごしたみどりさんも、5月に退院してからは、みんなのおしりをたたいて、健在ぶりを見せてくれました。

そのみどりさんも、去年はピープルファーストのカナダ会議以来、2回目のアメリカ会議に参加しました。リーダーとしてのみどりさんへの期待が重く感じられた年でもあったかもしれません。

一男くんが友だちに会いに一人で東京へ行き、みんなを驚かせたのはゴールデンウィークのときでした。東京駅で友だちになかなか会えなくて、怒っていたことを思い出します。

また、一男くんは「障大連」の定例会に毎回参加したり、知的障害者の「なかま会」の議長をつとめ、友だちづくりの才能が花開いた年でした。

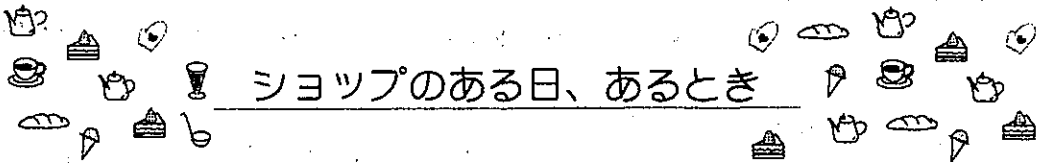
体験宿泊も、今年はずますます仲間が増えて、楽しくなりそうです。

去年はいろいろとありがとうございました。

本年もよろしく願いいたします。

(さとこ)





## シヨップのある日、あるとき

朝9時半。お店の開く時間です。メンバー2人がベージュ色のユニフォームで出勤です。さっそく、そうじにとりかかります。テーブルの上や床に置いている物を動かすすみずみまで拭いたりはいたりします。

お客さんが見えるとすぐに中断してウェーター・ウェイトレスに早変わり。これは、どの人も好む仕事の一つです。熱い飲み物を運ぶときは特に気をつけて。

パンを袋に入れたり、そう、レジもたいせつで大好きな仕事です。おつりをまちがわないように。

お客さんのいないときは、値札をつけたり、並べたり、棚のほこりをとったり……。ときどき本を見たり、折り紙やはし置きを作ったりもします。近く新しいメニューも加わり、これからますます忙しくなると思います。

毎日同じようでも同じことのない日々。明日も新しい出会いが待っていることでしょう。

(岩田)

### 新人紹介 パート3

#### 野花 由美子

私は、「のばなゆみこ」です。

私は、SMAPが好きです。

私は、ミシンが得意です。

私は、スカートが作れます。

私は、12月20日で24歳になります。



#### 森 隆司

ぼくは、「もりたかし」です。自己紹介をします。

いえでいつもたのしくやっています。

あそんだりしています。まいにちこどもと

あそんでいます。テレビをみたりしています。

ラジオをきいたりしています。

しょくじをたべたりしています。

いえにかえってコーヒーをのんだりしています。

かいものもいっています。パチンコをしています。



どらえもんかい

## とうきょうで・はなしあおうかい

—ほうこく—

11がつ23にち、24かの2かかん、  
あさくぼさん、しみずさん、いくたさん、はだせさん、にしおさん、  
ひらいしさん、あおやまさん、とみたさん、あずまさん、の9にんで、  
「とうきょうで・はなしあおうかい」へいきました。  
1にちめは「とやまサンライズ」で ぜんたいかい（じこしょうかいなど）  
があり、  
5じ30ぶんからは こうりゅうかいで わいわいさわぎました。  
2にちめは、とちょうのなかで、ぶんかかいを4つのテーマで、  
はなしあいがありました。  
2じからは、とうきょうととの はなしあいがありました。  
では、さんかしゃのこえをきいてみてください……

☆とみたさん：

とうきょうは、はなしができて、たのしかった。  
かずみさんと、ともだちになれて、よかった。  
ともだちがいっぱいできた。  
ともだちに、ジュースとガムをもらった。

☆しみずさん：

とうきょうで、はなしあいがたのしかった。  
とちょうがおおきかった。すごいたのしかった。  
あしあげごっこ、よかった。  
とやまサンライズにとまったのが たのしかった。

☆いくたさん：

じりつをして、よかった。ぼくらはねんきん  
とせいかつほごをもらってくらしています。  
おかねをもらって、かいごをしています。

☆ひらいしさん：

とうきょうとちょうでまいごになりました。

☆あおやまさん：

みんなでたのしくなった。いっしょにねた。しんかんせんがたのしかった。  
でんしゃのなかで、ごはんをたべて、たのしかった。  
かえり、とみやんといっしょで、たのしかった。



☆あさくぼさん:

グループホームのことをはっぴょうした。  
「じょせいのかいごしゃがもっとほしい。  
じょせいにしかたのめないことがいっぱいある  
から。  
おんなのこだけのグループホームがほしい。  
くるまいすのともだちがくらせるように、  
ひろびろとしたグループホームにすみたい」  
っていったら、まわりのひとは「すごいなあ」  
っていってくれた。

☆はだせさん:

とうきょうについたのがひるまえだったから、あと「とちょう」まで タクシーで  
いき、なん と「とちょう」はすごく たかかったので、びっくりしました。  
かいぎではグループホームのことをはなした。「ごはんたいてる」とか、「スーパ  
ーにかいにいってる」とかはなした。 はなしあいはやかったなあ。

☆にしおさん:

(ぶんかかいで)「えいぎょうぶちょうやってまーす」っていった。「クッキーもや  
いてます」っていった。「チョコレートもやってます」っていった。  
「ぼくのしごとははんぱいとはいたつ。たのしいけどはんぶんしんどい」っていったら  
まわりのひとは(にしおさんが、ちゅうしんになっているから)つづけていってほし  
いっていってくれた。

☆あずまさん:

かいぎのとき、「しつもん」と  
(なんども)いったら、ほかのひとに  
「しつこい」っていわれました。  
(ぶんかかいでは)れんあいのことで  
なやんでいるので「れんあいぶもん」に  
いきました。

らいねんは

「こうべ」でひらかれるよていで～す!

おたのしみに〇××

(ほうこく:ゆきめ)

※「どらえもん会」はパンジーのメンバーで構成される当事者自治組織です

# アメリカ「'95自立生活支援会議」報告



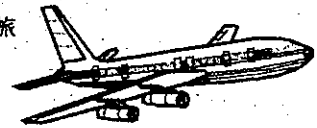
10月3日、全国から集まった知的障害を持つ人たちと、その支援者約50名が「'95自立生活支援会議」に参加するため、成田空港からアメリカ・カリフォルニア州へ飛び立ちました。

7日間の滞在中は、会議の他にピープルファーストのメンバーとの交流、地域で自立して暮らす知的障害を持つ人の家の訪問など、いろいろなことを経験し、学ぶことができました。

パンジーからは、メンバー・麻窪みどりさん、職員・林、滝川の3名が参加しました。

## スケジュール

3日	成田発 サンフランシスコ着 ↓ サクラメント レッドライオンホテル着 交流会・オリエンテーション	・10数時間の空の旅  ・夕食を食べながら自己紹介
4日	・数グループに分かれて見学・訪問  ・日米交流会	・一人暮らしをしている人、夫婦で暮らしている人、グループホーム、職場、自立支援センターなど  ・トムさんお勤めのあやしいモロッコ料理店
5日	・自立生活支援会議	・4つの全体会（当事者・親・兄弟・専門家）と、約70の分科会で構成。日本からの参加者は、
6日	・"	6つの分科会（個人のパワーと権利・コミュニティ・家族の援助・行動援助・仕事・学校・人間関係・家・文化的多様性）を選択。
7日	・サクラメント観光 ・バーバラさん宅でガーデンパーティ	・ステキなお庭で、ピープルファーストのメンバーと交流もできた。
8日	・サンフランシスコ観光	・おみやげ・お買い物大作戦！
9日	・サンフランシスコ発	
10日	・成田着	・ただいま！





ひこうきにのって、えいがをみました。  
コニーさん（ピープルファーストの元リーダー）  
と話をして、できればアメリカにすみたいと思った。  
グループホームに けんがくにいきました。  
15人でがんばっているところもあります。  
きょうかいに いきました。

（麻窪 みどり）



今回の会議に参加して強く感じたことは、「自信を持つこと」の重要さである。アメリカの参加者は、当事者も支援者も皆、パワーと自信を持っていた。

ピープルファースト（アメリカが発祥の当事者運動）のリーダーであり、地域の理事会のメンバーにもなっているダニエル・メドウズさんの特別講座、「自信をつけるためのプログラム」ではお互いにほめ合ったり、どんな意見にも拍手をおくる、という方法で大いにもりあがった。参加している知的障害を持つ人たちは、自分の発言に拍手喝采されてとても気持ちよさそう。これをくりかえしくりかえしする中で、自信をつけていくのだろう。

日本から参加したメンバーも最初は照れながらも、いつの間にかペースに巻き込まれ、どんどん手をあげていた。

「人を受け入れること」と「人に受け入れられること」で、皆は自信を取り戻していた。日本に戻って、早速パンジーでもメドウズさんのプログラムを試してみた。まずは、お互いをほめ合ってみる。案の定、皆気持ちよさそうにほめ合っ



ている。今までの人生の中で、自信をなくすことが多かったメンバーにとって、このプログラムは必要なんだな、と思った。「プログラム」というとなんだか堅苦しいから、もっと日本人にあった、いやいや、パンジーのメンバーにあったやり方を考えてみよう。そして、ダニエルさんのように、みんなを引っ張ってくれるリーダーが、パンジーのメンバーからうまれたらいいなあ。 (たき)

## 新たな試みに挑戦

ピア・カウンセリング講座と職員勉強会 境屋 うらら

パンジーのみんなは、とっても仲良しで元気だ。2か月に1回、東京から通っていく私を大歓迎してくれる。

「パンジー」は東大阪市にある知的障害者の通所作業所で利用者30名ほど、職員が10数名で月曜から金曜までパン・さおり織り・陶芸などの自主製品を販売している。パンはとってもおいしい。法人になり建物も新しくなって2階には自立生活体験室もある。

知的障害を持った仲間にもっと自信がついて、もっと自分達で決めることができ、元気になってほしいという職員からの話を聞き、ピア・カウンセリング講座と職員の人達への知的障害者をより良くサポートするための勉強会を企画した。2か月に1回、6月より始まった全6回の講座と勉強会も感動のうちに半分を終えようとしている。

1回目はピア・カウンセリングというよりは、みんなで楽しくカラオケをしてほんのちょっと生活のことを話ただけだった。2回目には完全なるピア（仲間）だけではなく、思いきってその手法を知っている職員も一緒に参加して行なった。お互いに話を聞き合うことができるかどうか不安だったが、3人の組も2人の組も他の人の話をしているときに口出しすることなく暖かいまなざしで耳を傾けることができ、相づちも人間味があった。自分の話すときも素直にストレートに自分を表現していてそれは素晴らしかった。職員と障害者が同じ悩みをかかえていることが分かるなど、興味深かった。

回を重ねるごとに聞き上手になっていくのが楽しみだ。終わった後一段と親しい関係になったような雰囲気は何ともいえず心地良かった。

職員の人達の知的障害者をより良くサポートするための勉強会は、ほとんど全員が参加している。知的障害者の立場や気持ちを理解するために、彼らのおかれている状況や抑圧についてお互い知っていることを分かち合いながら学びあっている。同時に、それを自分自身がどんなふう感じているのかも大事にしている。どの人も人間的で知的障害者を仲間としてサポートしたいとしみじみ感じさせてくれる。どちらも一人一人が自分に自信を持ち、本当によくやっていると自分と仲間に対して暖かく思い合えるような、そんな講座にしていくつもりだ。

## 東大阪市との交渉報告

12月6日(水)に、つばさグループ(パンジー「どらえもん会」「保護者会」作業所「フレンズ」「作業所「ラン」)と東大阪市との交渉があった。ここ何年かの交渉の回答はゼロだった。今年こそは何か一つでも確約をとりたい。私たちは内容を4つにしぼり、交渉のぞんだ。メンバーも真剣だった。自分のしたいことや気持ちをはなしたり、発言者を拍手で支えるなど、積極的だった。

東大阪市からは福祉事務所の栗山さん、片岡さん、竹内さんが来、また市議会議員の梯さんにも同席していただいた。

### 1. ガイドヘルパーの派遣時間の拡充

東大阪市の派遣時間数は20時間、大阪府の基準である40時間の半分だ。他市と比べても(大阪市51時間、枚方市50時間)少ない。私たちは、32時間を要求した。

### 2. 男性ヘルパーの派遣について

登録している男性ヘルパーが少ないので、男性ヘルパーの登録をすすめてほしい。また登録している男性ヘルパーを希望しても窓口で断られたという福祉事務所や社会福祉協議会の窓口の対応の悪さも問題になった。

### 3. 在宅障害者自活訓練事業について

来年度から大阪府に新たにできる事業で、いわゆる体験宿泊に対してお金がおりるといふもの。東大阪市はこれまでのパンジーの要求にもかかわらず、ある施設に事業の委託を決めていたというわさもあった。東大阪市の不公平さの追求と、体験宿泊には一年以上の実績のあるパンジーに事業を委託することを要請した。

### 4. 生きる場・作業所について

東大阪市では、作業所を作るのに10人以上の障害者と1年の実績が必要だ。家賃補助は6万円だが、公共の施設を貸し出している作業所は、家賃・水光熱費も無料と、不公平である。作業所に対して重度加算・人数緩和・実績の期間の緩和・家賃補助の増額・必要に応じた改造費の補助について要求した。また、パンジーとしては「ショップパンジー」を、作業所として認めることを要求した。

交渉を終えたが、今年も同じような回答しか得られなかった。東大阪市は、要綱を公開しないという矛盾を抱えた、不透明な部分が多い市である。行政に対してますます不信感が募ってしまった。結果を、みせてほしいと思う。(よしだ)

**書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています!** ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

ご協力ありがとうございます

<後援費を振り込んでいただいた方> (敬称を略させていただきます)

田中 誠

<書き損じハガキをお送りいただいた方>

カナエ友の会会員 滝川 信明 若宮 恵美 小松 崇 武田 直子  
山崎 紀江

★ CILわくわく ガイドヘルパー活動予定 ★

- 1月13日(土) 「なんばへ買い物」か「国立民族博物館」へ
- 1月27日(土) 「プール」か「ボウリング」
- 2月 3日(土) 外出
- 2月17日(土) 外出

**兵庫県南部地震への支援の為の情報**

被災した障害者作業所・事業所などの**再建のために支援金**を集めています。阪神大震災障害者救援本部を通じて、被災地の障害者団体に送ります。(振り込み用紙の記入欄に「支援金」とご記入ください)

**メンバーが全国へ飛び出すためにカンパをお願いします**

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。その会議では、自分たちのこと、将来のこと、自立についてなどを話し合います。

現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。少しでもメンバーの負担を軽くするためにぜひ、カンパをお願いします。

パンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8

クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818

“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市城東区東中浜2-10-1-3

緑橋グリーンハウス1F・7F企画気付